

二〇二二年度 高校 帰国生 入学試験問題

国 語 (60分)

△注 意▽

- (一) 開始のチャイムが鳴るまで、この冊子を開いてはいけません。
- (二) 問題は1ページから5ページに印刷されています。
- (三) 受験番号と氏名は解答用紙①および②の定められたところに記入しなさい。
- (四) 解答はすべて解答用紙①および②の定められたところに記入しなさい。

受 験 番 号			



## I

以下の設問に答えなさい。

【問1】 次の①～⑮について、――部のカタカナをそれぞれ漢字に直しなさい。また、⑯～⑳について、――部の漢字の読み方を

ひらがなで書きなさい。

- |   |                               |   |                         |
|---|-------------------------------|---|-------------------------|
| ① | 流行に <u>ビンジョウ</u> する。          | ⑪ | 入場料を <u>メンジョ</u> する。    |
| ② | <u>ボケツ</u> を掘る                | ⑫ | つまらない <u>ジヨウダン</u> を言う。 |
| ③ | 新しい政権を <u>ジュリツ</u> する。        | ⑬ | 困難を <u>コクフク</u> する。     |
| ④ | 念仏を <u>トナ</u> える。             | ⑭ | 責任を <u>テンカ</u> する。      |
| ⑤ | 両親を <u>ウヤマ</u> う。             | ⑮ | ほうきで落ち葉を <u>ハク</u> 。    |
| ⑥ | その質問は <u>マトハズ</u> れた。         | ⑯ | 自由を <u>束縛</u> する。       |
| ⑦ | <u>ギャツキヨウ</u> に立ち向かう。         | ⑰ | <u>隆盛</u> を極める。         |
| ⑧ | 成績が <u>テイメイ</u> する。           | ⑱ | 弟を <u>慰める</u> 。         |
| ⑨ | <u>カンカ</u> できない事態に遭遇する。       | ⑳ | <u>準備</u> を怠る。          |
| ⑩ | <u>メンバー</u> を <u>サツシン</u> する。 |   | <u>現場</u> に赴く。          |

【問2】 次の①～⑤の慣用句について、に当てはまる語を(ア)～(カ)の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

また、その意味として適当なものを(キ)～(シ)の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

慣用句

- ① が利く
- ② が合う
- ③ を巻く
- ④ すずめの
- ⑤ をこまぬく

語

- (ア) 手
- (イ) 足
- (ウ) 舌
- (エ) 涙
- (オ) 顔
- (カ) 馬

意味

- (キ) とても感心すること。
- (ク) ごくわずかしかないこと。
- (ケ) 落ち着いて対処すること。
- (コ) 何もせずにただ見ていること。
- (サ) お互いの気持ちや考えが一致すること。
- (シ) 信用や権力があつて相手に無理が言えること。

## II

次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

多くの国々でロックダウンの後遺症のために失業者数が増加し、市民の不安や不満が募っている。ネット上の偽ニュースは、人々の政府に対する不信感を煽る<sup>あお</sup>。ちょうど二〇一五年の難民危機の時と同じように、右派ポピュリスト政党が人々の不満を利用して、支持者を増やそうとする可能性がある。

パンデミックによる損害がこれまで比較的軽微だったドイツすら、一触即発の状態にあることを示す出来事があった。

二〇二〇年六月二〇日の夜に、シュトゥットガルトの商店街で警察官が若者に職務質問を行ったところ、付近にいた若者約五〇〇人が警官たちに襲いかかり、付近の商店のショーウィンドウなどを破壊した。この「ミニ暴動」で警察官一九人が負傷したほか、四〇件の店舗が損壊・略奪の被害にあった。

シュトゥットガルトは市民一人あたりの可処分所得がドイツで最も高い町の一つで、この種の事件が起きたことは一度もなかった。犯罪学者らの間では「コロナ危機は多くの負け組を生んでいる。長期間のロックダウンで自宅にいななくてはならなかったために、多くの市民の間で欲求不満が高まっている」として、コロナ危機による制約が人々を過激な行動に走らせたという見方が有力だ。一見平穏に見える大都市でも、コロナ危機によって市民の欲求不満は臨界に近づいている。シュトゥットガルトの騷擾<sup>せうじょう</sup>は、火薬の詰まった樽<sup>たる</sup>に火の付いたマッチを落とせば、大爆発が起こることを示した。

最悪のシナリオは、右派ポピュリストたちが市民の心の中に蓄積している負のエネルギーを悪用して、支持者を増やすことだ。

二〇一五年の難民危機後に欧州各国で起きた出来事は、右派ポピュリストたちが偽ニュースによるプロパガンダ戦略を駆使すれば、市民の現政権に対する不満や不安を利用して支持率を大きく伸ばしたり、伝統政党や半数近くの有権者の意に反して一国を国際機関から離脱させたりできることを立証した。

いまやパンデミックは、民主主義社会にとって、難民危機以上に危険な土壌をグローバルな規模で育成しつつある。私が現在の状

況を二〇一五年よりも危険と考える理由は、パンデミックが中産階級の間にも失業者数を激増させているからだ。二〇二〇年一月までは豊かな生活をしてきた人々が、突然無収入者になり生活保護以外の生活の糧がなくなる。難民危機には、これほど重篤な副作用はなかった。

市民の不満の矛先は、グローバル化に対しても向けられる。右派ポピュリストたちは、グローバル化がパンデミックによる経済的な被害を深刻にしたと主張する。多国間の協調体制ではなく「ひまほう自国ファースト」を標榜する人々にとって、パンデミックはEUや国連などの国際機関を攻撃するための絶好の材料を与える。

たとえば欧州企業は、コロナ危機が起きる以前には、マスクや一部の抗生物質の生産施設を人件費が安い中国に移していた。医療物資や医薬品の自給率よりも収益性を重視したからだ。このためパンデミックの初期に貿易が停滞すると、欧州ではマスクや一部の医薬品が足りなくなった。欧州では、将来こうした事態を防ぐために、市民の安全や健康にとって重要な製品を自国内で生産するべきだという意見が強まっている。

つまりコロナ危機は二一世紀に加速する一方だったグローバル化に、ブレーキをかける。グローバル化が完全に停止することは考えられないが、少なくとも速度はこれまでよりも遅くなるだろう。一部の市民は、こうした動きを見て、右派ポピュリストたちの「グローバル化悪玉論」には一理あると考えるに違いない。

バイエルン州政治教養センターのウルズラ・ミュンヒ教授は「コロナ危機は、グローバル化を批判してきた右派ポピュリストや保護貿易主義者にとって追い風となる。彼らがパンデミックや市民生活の制約を、支持率を伸ばすための道具として悪用する恐れがある」と警告している。

いま世界の国々は、パンデミックによって民主主義体制の強靱性きょうじんせいを試されている。各国は国家エゴだけを追求するのではなく、現在EUが行っているように団結を強めることによって各国経済を安定させ、右派ポピュリストたちの危険な誘惑から市民を守るべきだ。

(熊谷徹『パンデミックが露わにした「国のかたち」』NHK出版、二〇二〇年八月より。なお、本文には省略した箇所がある。)

【問1】この文章を一〇〇字程度で要約しなさい。

【問2】この文章を読んであなたが考えたことを、四〇〇字程度で書きなさい。

